

投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 宮川 耕二 (主幹兼国道係長 大江 泰廣)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 4)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	------------------------

事業種目	道路事業	事業名		事業区間		総事業費	7 8 億円
		国道 1 7 6 号 鐘ヶ坂バイパス		氷上郡柏原町上小倉 ～ 篠山市追入		内用地補償費	9 億円
所在地		事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率 (内用補進捗率)	約92%(100%)	
氷上郡柏原町上小倉～篠山市追入		H 7	H 7	H 1 7	残事業費	6 億円	
事業の目的				事業内容			
<ul style="list-style-type: none"> • 国道 1 7 6 号の鐘ヶ坂峠付近は、急峻な地形を道路が通過していることから、線形が悪く、法面崩壊による通行規制や交通事故が発生しており、バイパスを整備することにより、安全で円滑な道路交通を確保する。 • 国道 1 7 6 号は、丹波地域と阪神間を結ぶ重要な幹線道路であり、この交通機能を強化することにより、地域間交流を促進し、地域の発展に寄与する。 				道路改築事業 L = 2,650m (うちトンネル L=1,012m) 【計画幅員】 明かり部 : 6.5(12.0)m (2車線+片側歩道) トンネル部 : 6.5(11.0)m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】 5.5(6.5)m (2車線+歩道無し) 【計画交通量】 14,000 台/日 【現況交通量】 12,874 台/日 (H11 交通センサ) 【負担割合】 国 : 5.5 / 10、県 : 4.5 / 10			
進捗状況		H 7 年度に事業着手し、測量・調査設計等を進めたうえで、H 8 年度に用地買収、H 1 0 年度に明かり部工事、H 1 2 年度にトンネル工事にそれぞれ着手した。 トンネル本体は既に完成しており、明かり部についても、現道との取り付け部や舗装等を除いて概ね完成している。 現在、トンネル設備及び明かり部の残工事を進めており、H 1 7 年秋完成予定である。					
評価視点		評価結果の説明					
(1) 必要性 安全・安心の確保		<ul style="list-style-type: none"> • 国道 1 7 6 号のうち、鐘ヶ坂峠の柏原町側は、勾配が急(最急縦断勾配9.2%)で、曲線半径40mの急カーブが2箇所あるなど線形が悪く、また、平成2年には、3箇所で大規模な斜面崩壊災害が発生し、延べ21日間の通行止めを余儀なくされた交通の隘路箇所となっている。この区間をバイパスで整備することにより、安全で円滑な道路交通が確保できる。 					
地域の活性化		<ul style="list-style-type: none"> • 国道 1 7 6 号は、県内ほぼ全区間が、兵庫県地域防災計画において緊急輸送路に位置付けられており、緊急車両の円滑な走行が確保できる。 • 舞鶴若狭自動車道などの高規格幹線道路と一体となって広域的な交通ネットワークを形成する国道 1 7 6 号の機能強化を図ることにより、地域間交流を促進し、観光や産業の発展に寄与する。 • 人と自然と文化が調和した快適な生活圏の形成を目指す「丹波の森構想」を支援する骨格道路となる。 					
(2) 有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> • トンネル設備工事及び明かり部の舗装工事等を残して概ね完成しており、当初予定どおり平成 1 7 年秋完成に向けた工事の実施が可能である。 • 費用便益比 B / C = 1 . 7 					
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> • トンネル掘削土を起点明かり部の盛土に利用し、発生土の有効活用を図った。 • 切土、盛土法面には周辺植生に配慮した緑化を行い、環境への影響を軽減した。 					
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> • 事業は 9 2 % 進捗し、残工事はトンネル設備、現道取付部の改良及び舗装工事等となっている。 • 事業目的の達成のために、平成 1 7 年秋の完成に向けて引き続き整備を進める。 					
再評価の結果	継続	左の理由	上記理由により事業継続が妥当である。				